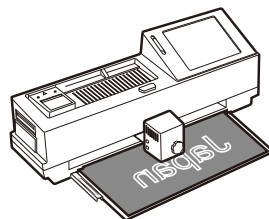


発泡ラバーの使い方

Step 1 ナイフカット

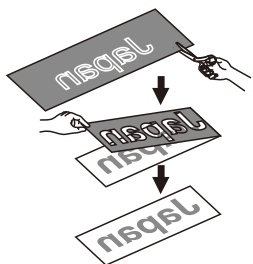
転写シートの裏面(のり側)から鏡像図柄(左右反転)をナイフカットします。
 ※当社カットマンシリーズではスピード3、圧力Hの条件でカットしてください。

転写シートはカット台にスプレーのりで固定してください。
 固定しにくい場合はマスキングテープ等でずれないように固定してください。



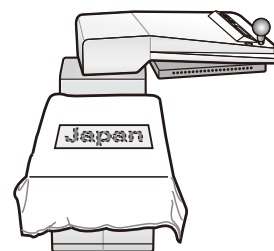
Step 2 トリミング

文字の周りのいらない箇所をはがし、文字だけをフィルムに残します。



Step 3 レイアウト

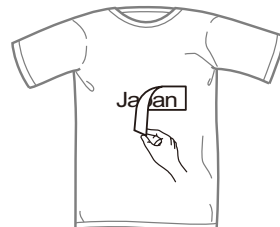
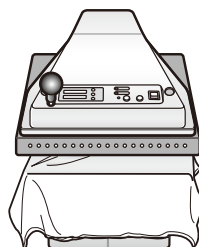
プレス台の上にウエアをのせ、ウエアに空プレス(仮転写温度100℃、3秒間)し、シワ等を伸ばします。
 貼り付けたい場所に文字のレイアウトを行います。



Step 4 仮転写

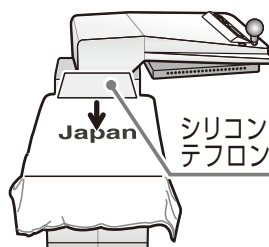
100℃、20秒間、プレス圧力最大圧の条件でヒートプレスします。
 完全に冷めてからフィルムをはがします。(うまくはがれない場合は再度同条件でヒートプレスしてください。)

注意: 転写温度が高かったり、転写時間が長かったりすると、仮接着の段階で発泡層の発泡が起こってしまい、フィルムがはがれにくくなったり、圧着の段階での発泡が起こりにくくなる場合があります。(発泡が起こると転写シートの色は白みをおびます)



Step 5 圧着・発泡

テフロンシートやシリコン紙のような剥離性のよいものをあてて、150℃、20秒間、プレス圧力最大圧の条件でヒートプレスします。(また発泡層(転写シート表面)をプレス機の下ゴテ(スポンジ面)に接するようにウエアをのせ、同条件でプレスして圧着・発泡させることもできます。)
 ヒートプレス後、すぐにテフロンシート等から(又はスポンジ面から)ウエアをはずして完成です。



シリコン紙またはテフロンシート



カット条件		プレス条件				適応素材					2重マーク
スピード	圧力	温度	時間	圧力	綿	綿ポリ	ポリ	ナイロン	防水布		
3	H	仮転写	100℃	20秒	最大	●	●	●	●	×	×
		圧着・発泡	150℃	20秒	最大						



■使用上のご注意■

- ご使用の前に本書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- プレス機を使用しますのでやけどに注意してください。
- 転写シートは高温多湿を避けて保管してください。保管状態が悪い（高温、多湿）と貼り付けできない場合があります。
- 上記転写条件はTシャツ生地に対応した条件です。トレーナー等のウエア生地が厚い場合でスポンジ面に接するようにウエアをのせて圧着を行う場合は発泡時の温度を高くしたり、時間を長くしたり条件を変更しなければなりませんのでテストをしてからのご使用をお勧めします。
- 発泡層（転写シート表面）の接する表面の形状によって発泡させたときの表面の仕上がりが異なります。
- ウエアの生地が厚いものや硬いものでは生地が発泡によって盛り上がりにくいので発泡が弱く感じる場合があります。
- 繰り返し洗濯することで発泡層のひび割れやシワが起こる場合があります。洗濯には洗濯ネットの使用をお勧めします。
- 通常の洗濯は可能ですが、乾燥機の使用、ドライクリーニング（パークロ）は避けてください。
- プリント面にアイロン/プレス機をかける場合は直接プレスをかけないでください。アイロン/プレス機をかける場合はシリコン紙またはテフロンシートの表面をプリント部分に当て、アイロンはこすらず、やさしくかけてください。プリントがずれる場合があります。
- 転写の失敗による責任は負いかねますのでテストをしてから本番をしてください。

Horizon

ホリゾン・インターナショナル株式会社

H&F事業部 〒180-0005 東京都武蔵野市御殿山1-6-4 TEL.0422-48-5119(代) FAX.0422-48-5009 www.horizon.co.jp